

# なんたん 社協だより

2012.1

## 第13号

すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり



ここ・とも～ここで心の友達できるといいな～

赤い羽根共同募金助成事業



フルーツのせて、  
素敵なケーキ

『ここ・とも』とは

障がいのある方達が地域の中で新たな  
出会いや友達づくりのきっかけの場とし  
て、また参加者同士の交流を通じて障が  
いに対する理解を深めることを目的に開  
催しています。

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当会の運営・活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、未曾有の大災害によって、あまりにも多くの尊い命や財産が失われるという、我が国にとって深い悲しみに包まれた受難の年でもありました。また、被災地の人々が、今なお不自由な生活を強いられているという実情を伺い知りますと、一刻も早い被災地の復興と安寧を心からお祈りするばかりです。

そのような被災地において、老若男女を問わず、日夜懸命に汗を流すボランティアのお

ごあいさつ



社会福祉法人  
南丹市社会福祉協議会

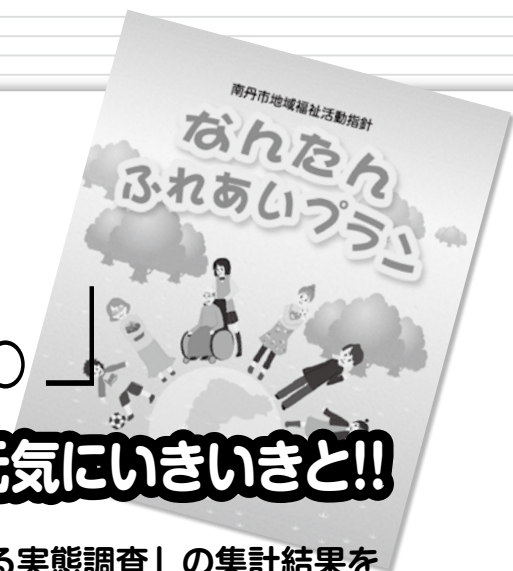
会長 田中 博

姿から、「困ったときはお互いさま」の精神をしっかりと根付かせ、育み、受け継いでいくことが、希望ある未来への鍵だと思いました。人と人とがつながり合っていると実感できる「絆」こそが、地域福祉、つまり地域に幸せをもたらすことの源ではないでしょうか。

私たち社協は、地域の人々に育まれた絆を大切に、地域に寄り添える存在であるよう、一丸となって精進してまいります。

年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 「地域の未来を デザインする。」



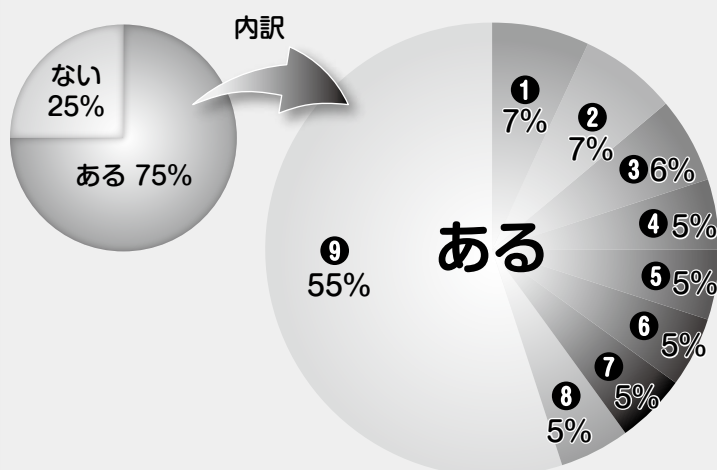
## 「なんたんふれあいプラン」で、地域を元気にいきいきと!!

◆今年度の夏に実施した「市民の暮らしと地域福祉に関する実態調査」の集計結果を分析・取りまとめ中です。今号では集計結果の一部をご紹介します。

### 南丹市民はどう思ってる?!

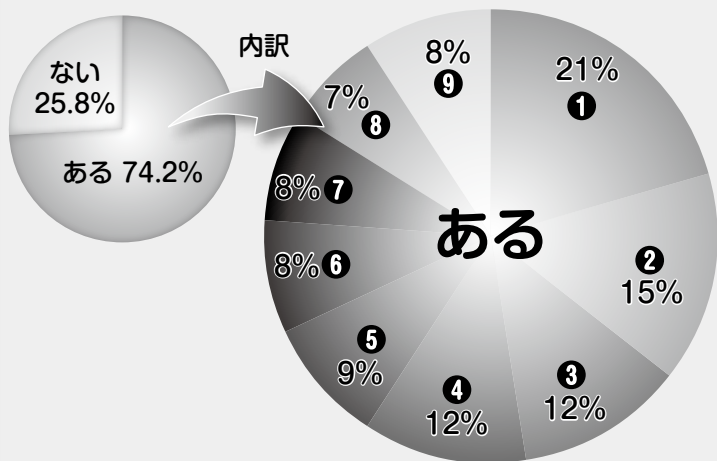
有効回答数／823世帯

**Q** 「くらしや福祉・医療に関する困りごと・心配ごとはありませんか?」(複数回答可)



- ① 老後のこと
- ② 生計中心者の病気・事故
- ③ 年金が少ない
- ④ 家族の病気・事故
- ⑤ 税金が高い
- ⑥ 貯金ができない
- ⑦ 保険料が高い
- ⑧ 通院が困難
- ⑨ その他

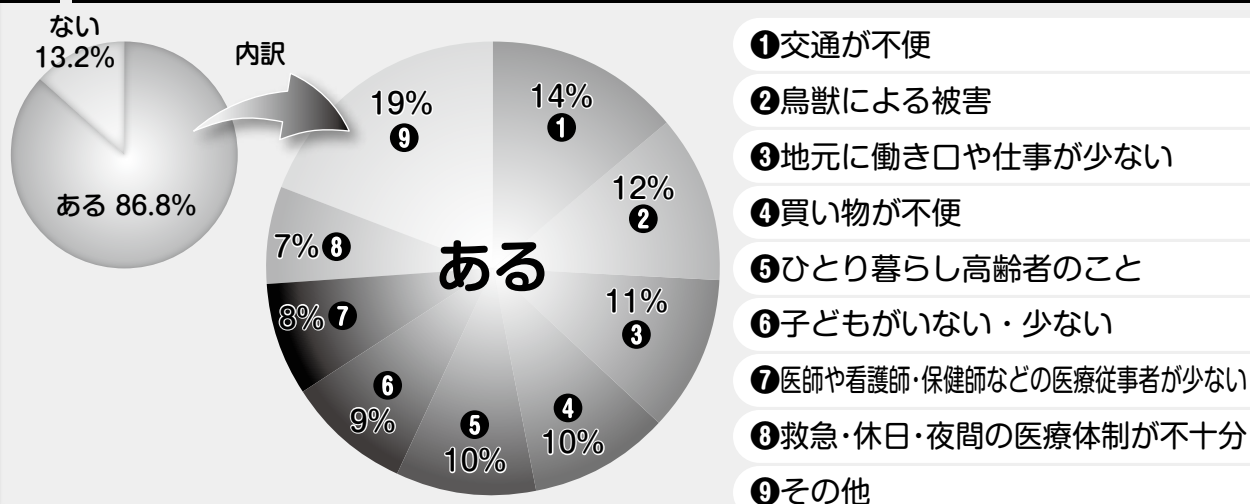
**Q** 「お互いに力を合わせて、安心して暮らせるまちづくり(地域福祉活動)をすすめる上で必要だと思っていることはありませんか?」(複数回答可)



- ① 住民相互の日常的な対話交流を広げる
- ② 高齢者や障がい者と子ども・若い人たちの交流を広げる
- ③ 身近な地域で住民のくらしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす
- ④ 行政の施策をわかりやすく住民に知らせる
- ⑤ 身近な地域に障がい者や子ども、高齢者などがいつでも利用できる施設を整備する
- ⑥ 民生委員・ボランティアと自治会の協力・連携を広げる
- ⑦ 自治会が住民の身近なくらしや健康・安全・防犯などの問題に取り組む
- ⑧ ボランティア活動・地域福祉活動への参加者をもっと増やす
- ⑨ その他



## Q 「身近な地域の中で何とかしなければならないと思っていることはありませんか?」(複数回答可)



集計結果の分析を進める中で、わたしたちがふだん感じているくらしの課題、地域の課題が改めて浮きぼりになったり、隠れていた課題が明確になってきたりしています。

調査の分析結果は年度内にとりまとめ、地域のみなさまへ報告する機会を設けたいと考えています。

わたしたちの地域をあらためて見つめ直し、これからも安心して住み続けられるまちづくりについて一緒に考えていきましょう。

**地域でがんばってます!**

なんたんふれあいプランでは、住民主体の地域活動モデルとして「ふれあいの森づくり」を提案しています。平屋地区地域福祉推進協議会の取り組みはまさにそのモデルのひとつといえます。

## 美山町平屋地区地域福祉推進協議会 ～「ひらやオープンランチ」を開催～

世代間交流を目的にした初めての試みとして「ひらやオープンランチ(昼食会)」が開催されました。

今回は地域にお住まいの75歳以上の方と、乳幼児の親子を対象に呼びかけ、たくさんの方が参加されました。(平成23年11月17日美山保健福祉センターにて)

普段はなかなか外に出てこれない方の姿も見られ、参加者からは「楽しかった」「またやってほしい」という声もありました。また、主催者の方も「多くの地域の方々の協力により開催できてよかった、今後も継続していきたい」と語ってくださいました。



みんなで楽しんだ「ドレミグループ」のレクリエーションや、「そらまめ」の紙芝居・人形劇、赤ちゃんを抱っこして記念撮影も。



調理ボランティアとふれあい委員の手作りのごちそうを食べながら、笑顔の会話がはずみます。

「平屋地区地域福祉推進協議会」

設立：平成22年3月

会長：外田 誠氏

## 認知症 (その①)

ある日、自分や身近な人に認知症の兆しが見えたらどうすればよいでしょうか。

日本には認知症を患っている人が約250万人といわれています(平成22年)。高齢になればなるほど認知症発症の割合は高くなり、75歳以上では7人に1人、85歳以上では4人に1人といわれています。高齢化が進む南丹市でも患者の増加が懸念されています。

### 《認知症は「脳の病気」、単なる“もの忘れ”とは違います》

認知症とは、脳に起きた障害によって今まで持っていた知的機能（記憶する、時・場所・人などを認識する、計算するなど）が低下し、日常生活を送ることに支障が出てくる病気です。

たとえば、「人の名前が思い出せない」のは単なる“もの忘れ”ですが、認知症の場合は、「前から知っている人なのに初対面の人として認識する」など、周囲の状況を把握したり判断したりする力が衰えていくのが特徴です。

認知症の種類はさまざまですが、代表的なものは「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」です（両者の混在型もあります）。

「アルツハイマー型認知症」は、脳の委縮が原因といわれています。委縮は少しずつ進むので、周囲が気づきにくいのが特徴です。また、70歳以上で発症することが多く、女性のほうがかかりやすいといわれています。

「脳血管性認知症」は、脳こうそくや脳出血など脳の血管障害が原因といわれています。損傷を受けた場所や程度により症状が違い、段階を踏んで進行していくのが特徴です。60～70歳の発症が多く、男性のほうがかかりやすいといわれています。

認知症は、早期に発見して適切な治療やケアを受ければ、症状を軽減したり、進行を緩やかにしたりすることができます。「年だから…」「あんなにしっかりしてる人が…」という思い込みが進行を招くこともあります。他の病気と同じように早期発見・治療が大切です。

### 《みんなでかかわる（かかわりかたのポイント）》

まずは、介護する方が『認知症は病気である』ということをしかりと理解することが重要です。

認知症の方は自分が誰かわからなくなること、記憶が失われていくことにとても「不安」を感じます。認知症の方の行動には「意味」があります。脳の障害によって、表現の仕方や行動にズレが生じているのです。否定せずに、「受け入れる」ことが大切です。

その方の価値観や歩んで来られた人生を考えて接してみましょう。

- ・ 自尊心を傷つけない。
- ・ 話をよく聞く。同じ話でも真剣に・・・。
- ・ 本人の意志を尊重する。
- ・ 本人のペースに合わせる。



- ・ 間違いであっても受け入れ、怒らない。
- ・ 認知症だからという先入観を持たない。
- ・ 出来ないことより、出来ることに目を向ける。

## 《ひとりで抱えこまない（介護者家族の会）》

認知症の方を介護されている家族は目に見えない負担を感じておられます。そんな不安や悩みの負担を介護者ひとりだけ、家族だけで抱えず、同じ悩みを抱える方と情報交換や交流をして負担を軽減することが大切です。南丹市には4つの『介護者家族の会』があります。いろんな立場で家族等を介護されている方がおられますので、一緒にお話してみたいか



会員の方には会報（不定期）を送っています。

### ～介護者家族の会～

なごみの輪（園部）、たんぼぼ（八木）、絆の会（日吉）、あいの会（美山）

## 《地域で支える（認知症サポーター養成講座）》

認知症は病気ですが、決して「何もわからない人」ではありません。地域で見守り、支援の輪を広げるために「認知症サポーター養成講座」（出前講座）を開催しています。

認知症になっても安心して暮らせる、あったかい南丹市を目指し、養成講座をあなたの町や職場、学校でも開きませんか。認知症への正しい理解を深めるにはもちろん、人権学習としてもおすすめです。少人数でもかまいません。



受講された方にはサポーターの印、「オレンジリング」が配られます。このリングをお持ちの方は全国で250万人を超えました（平成22年度末）。あなたもその仲間入りをしませんか？

### ～養成講座の内容～

寸劇、認知症についての基礎知識、対応の注意点など1時間半程度です。

【困ったとき、迷ったときの連絡先】高齢者にまつわるさまざまな相談にのっています。

### 『あんしんなんたん』南丹地域包括支援センター

～園部・八木～ 電話：0771-68-3150 F A X：0771-68-3151

～日吉・美山～ 電話：0771-72-0214 F A X：0771-72-3222

\*この特集記事についてのご相談・お問い合わせも受け付けております。

次号では、認知症をサポートする公的な制度や「地域での支え合い」を切り口とした生の声、取り組みを紹介します。

# 行事予定・お知らせ伝言板

〈1/15現在〉

## つどう

### 地域活動支援センター

2月 2日(木) 音楽療法(あじさい園)  
25日(土) 八木町ボランティア  
交流会(八木公民館)  
3月 1日(木) 音楽療法(あじさい園)  
2日(金) 園部介護者リフレッシュ事業  
(るり溪温泉)  
4日(日) あじしろはっぴいまつり  
10日(土) 美山福祉のつどい  
(美山文化ホール)  
10日(土) ファミサポ会員交流会  
(南丹市国際交流会館)  
11日(日) 日吉ふれあい福祉まつり  
(遊youひよし)

2月 8日(水) オープンランチ(美山)  
11日(土) そよかぜどうぶ(日吉)  
17日(金) オープンカフェ(日吉)  
18日(土) そよかぜどうぶ(美山)  
25日(土) そよかぜどうぶ(八木)  
3月10日(土) そよかぜどうぶ(日吉)  
14日(水) オープンランチ(美山)  
16日(金) オープンカフェ(日吉)  
17日(土) そよかぜどうぶ(美山)  
24日(土) そよかぜどうぶ(八木)

## 学 ぶ

2月15日(水)・16日(木)  
ファミサポおまかせ会員講習会  
(園部公民館)  
3月 9日(金) 男性お料理教室(八木公民館)  
未定 サロン協力者交流研修会

## 運 営

2月 下旬 理事会・評議員会  
3月 下旬 小規模多機能施設竣工式  
理事会  
評議員会

## お 悩 み 相 談

心配ごと相談・弁護士相談(無料)  
2月 7日(火) 園部公民館  
21日(火) 社協日吉支所  
3月13日(火) 八木公民館  
27日(火) 美山基幹集落センター  
※弁護士相談は各支所へ予約が  
必要です。

## そ の 他

2月 7日(火) フリー託児(社協八木支所)  
3月13日(火) フリー託児(日吉はーとびあ)

予定は予告なく変更する場合があります。又、追加されることもあります。

## 新任職員の紹介

よろしくお願いします!



もんじ  
文字 由美子

地域福祉部地域福祉事業課  
住民の皆様に親しまれる職員を目指し、積  
極的に地域の中に入りたいと思います。  
よろしくお願いします。



松村 陽子

包括支援部包括支援課(八木支所勤務)  
南丹市の皆様が笑顔で暮らしていただける  
よう、私も笑顔で頑張ります。  
よろしくお願いします。



笹原 裕之

地域包括支援センター(北部)  
今までは介護の現場で働かせていただい  
ていました。社協職員として気持ちを新たに  
がんばります。



宇野 まり子

ほほえみ日吉訪問介護事業所  
ヘルパーを始めて7年になります。住み慣  
れたまちで、いつまでも安心して暮らして  
いただけるように努力していきます。



# 通所介護（デイサービス）って何？

要介護者又は要支援者の方が日帰りで自宅から老人デイサービスセンター等に通い（送迎あり）日中を過ごしていただくサービスです。おもに、①入浴、②食事（昼食）、③レクリエーション（社会的交流）、④リハビリ（体操）、⑤健康チェック（血圧、体温）などを受けてもらうことができます。

事業所の規模は、利用できる人数、対象としている利用者によって、異なります。

利用者の状態により、利用される目的も異なります。家に引きこもりがちな方には社交の場を、自宅で入浴ができない方にはその機会を提供する等です。また、ご家族など介護者の休息を確保し介護の負担を軽減することも重要な目的です。

それぞれのデイサービス事業所ごとに特徴がありますので、実際に見学や体験利用をしていただくこともできます。

現在南丹市内には、デイサービスの事業所が14箇所あります。

サービスの利用を希望される方は介護保険の認定等の手続きが必要になりますので、南丹地域包括支援センター（園部・八木／0771-68-3150、日吉・美山／0771-72-0214）や各居宅介護支援事業所までご相談ください。



ご協力ありがとうございました。

★赤い羽根共同募金運動 合計 4,400,583円  
★歳末たすけあい募金運動 合計 3,835,985円

（平成23年12月末現在）

つくし園には、家庭生活の中や大きな集団（幼稚園・保育所など）の中で、自分の持っている力を十分に発揮できず困っている就学前のお子さんとその保護者の方が通園されています。

ここでは、子ども一人ひとりに小集団の中で細かに関わっています。一人ひとりが自分らしく、いきいきと生活できる関わり方を、保護者をはじめ、子どもたちに関わる大人に伝えていくことが仕事だと思っています。そのために、心理（発達）・作業療法（からだの使い方・感覚）・言語療法（ことばの育ち）などの専門の先生方と連携をとります。

保護者から『つくし園の親子療育に通園し、

児童デイサービス つくし園 長田眞以子

職員レポート

遊びを通してこの子のことがわかってきた』『どのように関わっていいのかわかってきた』『子どもの関わり方がわかると、この子を可愛いと思った。』等のお言葉をいただくことが増えてきました。

私たちが、日々笑顔で仕事ができるのは、このようなお話を聞かせてもらったり、療育回数を重ねるごとに、子どもたちや保護者の笑顔が増えてくることを直接感じられるからだと思っています。

これからも、子どもたちや保護者の方々の笑顔を支えに、がんばっていききたいと思っています。

# 善意のご寄付ありがとうございました

《平成23年10月1日から12月31日受付分》

カラオケサークル園城堰会 様	20,000 円	チャリティ歌謡フェスティバル収益金を福祉のために	南丹市婦人会園部支部小塚町地区 様	8,848 円	愛の箱募金を福祉のために
園部ロータリークラブ 様	300,000 円	福祉のために	大狩 久子 様	10,000 円	福祉のために
瀬口 裕 様	5,000 円	ワークセンターびびの運営に	北井 愛子 様	100,000 円	福祉のために
吉田 文枝 様	100,000 円	亡夫の供養に	仲井 資具 様	10,000 円	福祉のために
宅間 安行 様	50,000 円	亡父の供養に	林 まゆみ 様	100,000 円	亡夫の供養に
井尻 逸司 様	100,000 円	亡父の供養に	船枝 愛友会 様	3,000 円	福祉のために
加藤 ヤス 様	50,000 円	福祉のために	井尻 稔 様	50,000 円	福祉のために
美山育成苑 様	30,000 円	ボランティア活動のために	若井 元治 様	100,000 円	亡母の供養に
井上 文吾 様	100,000 円	亡母の供養に	武部 能登 様	5,000 円	児童福祉事業のために
町内設置募金箱 様	9,774 円		株式会社親愛代表取締役 安達耕一郎 様	100,000 円	報恩感謝
美山やすらぎホーム 様	38,000 円	福祉バザーの売上金を地域福祉のために	仲 ミエ子 様	金一封	亡夫の供養に
北桑田高校美山分校 農業クラブ 様	2,000 円	物品借用のお礼に	土井 保江 様	5,000 円	福祉のために
井尻 一久 様	100,000 円	亡姉の供養に	カラオケサークル園城堰会 様	掃除機、電工ドラム	各1台
藤井 保子 様	100,000 円	亡夫の供養に	山田 滋一 様	介護用品	
秋田 泰孝 様	100,000 円	亡父の供養に	ふるさと丹波路 様	さつまいも多数	社協内施設のために
聖家族幼稚園保護者会 様	20,000 円	バザー収益金の一部を福祉のために	上野 嘉雄 様	サンタブーツ、お菓子	多数
中野 忠男 様	10,000 円	亡妻の供養に	畑修ふとん店 様	タオル15ダース	
八木 卓美 様	1,000,000 円	福祉のために	谷内 博 様	もち米30キロ	社協内施設のために
秦 英子 様	50,000 円	亡夫の供養に	加茂八洲雄 様	お菓子	あじさい園通所者のために
			匿名寄付 26件	665,550 円	
			匿名寄贈 4件		「戦争と昭和」ビデオ8巻・タオル等・切手、葉書

みなさま遊びに来てください。

～ ふれあいが、地域で助け合うきっかけにつながる場 ～

## ふれあいの居場所「おいで家」オープン!



玄関の看板とのれん

★開所時間／平日10時～15時

(12/29～1/3、8/13、14を除く)

★場 所／日吉町胡麻才ノ本1-9 (胡麻駅前通り)

★TEL／0771-74-0778

「おいで家」は南丹市地域包括ケア総合交付金を受けオープンしました。

12月1日、日吉町胡麻に、誰もが気軽に集えるみんなの居場所「おいで家」がオープンしました。地域の方のご好意で、大切なお家を借りています。

開所式には地元の民生委員さんをはじめ、ご近所の方も多数来てくださいました。また、「らべんだ〜ず」のオカリナ演奏では、美しい音色にうっとり。その後は、らべんだ〜ずの皆様も交えてみんなでコーヒータイムを楽しみ、にぎやかな開所式となりました。

今後はボランティアなどが常駐し、地域の皆様をお迎えしたいと思います。小さなお子様連れから高齢の方まで、誘い合って、お越してください。のれんと看板がオープンの目印です。なお、看板文字も地域の方に世話になりました。



みんなでコーヒータイム

『皆様のご意見お待ちしております』 “地域でがんばってます”コーナーへの情報も募集中

発行

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 ☎ 0771-72-3220 FAX 0771-72-3222

園部支所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 ☎ 0771-62-4125 FAX 0771-63-5606

八木支所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎 17 番地 ☎ 0771-42-5480 FAX 0771-42-4412

日吉支所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 ☎ 0771-72-0947 FAX 0771-72-0732

美山支所 〒601-0751 南丹市美山町島住古瀬 8 番地 ☎ 0771-75-0020 FAX 0771-75-0829

ホームページ 南丹市社協

検索